

## 竹材の園芸利用

緑環境景観マネジメント研究科 札埜 高志



## キーワード

放置竹林、竹粉、園芸培養土、ピートモス

## 研究概要

近年、放置竹林の拡大が西日本を中心に問題となっています。古来より日本では竹が日常生活に欠かせない生活用品として利用されてきましたが、戦後の生活水準の向上に伴い、日常生活で使用される竹製品は種類・量ともに激減しました。武製品が使われなくなった結果、放置竹林の面積は拡大傾向にあります。この放置竹林の拡大を抑制するためには、竹材の新たな用途を考案する必要があると思われます。本研究科では、園芸培養土として使用されるピートモスの代替培養土として竹粉が利用可能であるか検討しています。様々なタイプの竹粉を製造し、それらを充填した鉢で園芸植物を栽培することで、培養土に適する竹粉の特性を調査しています。

## アピールポイント

竹粉を土壌改良材やマルチ素材として利用を試みた研究は数多く報告されていますが、竹粉を培養土そのものに利用しようとした研究は他にはみあたりません。また、地域の企業と連携して竹材の積極的な消費につなげています。

## 応用分野

本研究の成果は、放置竹林拡大の抑制、ピートモス採掘量の削減および新たな鉢物商品開発などに貢献できると考えられます。



図 竹粉配合土でのパンジーの生育状況